



# 奈良教育大学 (奈良県)



## ・日本語・日本文化実地検証プログラム---やまと---

### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

##### 1) 特色と歴史

本学は1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。この間女子師範学校、青年師範学校と合併、名実ともに教員養成機関として面目を一新、1949年5月に奈良学芸大学、1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

本学は高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

また、教員実践の経験をふまえた教育理論の見直し、再編成の場として教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置している。

##### 2) 教員・学生数等：

教員数 92人 学生数 1,286人

#### ② 国際交流の実績

留学生教育に関しては、小規模大学としては充実しており、教員養成大学の特性（多岐に渡る専門領域の教育が実施されている）を生かし、所在地である古都・奈良の特色も生かした教育で高く評価されている。現在7か国12大学と国際交流協定を結んでおり、11か国から56名の留学生が在籍している。全学に占める留学生の割合は約4%である。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生（以下、「日研生」という。）の受け入れに関しては実績があり、1987年に初めて1名を受け入れて以来、現在までに約40か国から約190名の受け入れ実績がある。日研生にとって、本学は日本の伝統文化と現代文化を同時に実地検証できる絶好の場であると言えよう。（④地域の特色参照）

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2019年：留学生数56人、日研生9人

2018年：留学生数61人、日研生7人

2017年：留学生数56人、日研生3人

#### ④ 地域の特色

本学が位置する奈良市は、人口約36万人で大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くことができる利便性があり、かつ8世紀には都であったことから、古都としての伝統が色濃く残る、いわば過去と現在が交差する希少な都市である。

また、2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良は、益々国際交流に力を入れており、留学生に対しては地域からの期待も大きく、またよくサポートを受けている。

### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

以下の（a）（b）両方を対象とする。

（a）主に日本事情・日本文化に関する研修

（b）主に日本語能力の向上のための研修

#### ② 研修・コースの特色

本学は世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで徒歩圏であるばかりでなく、本学の構内で8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、他にはない特色を備えている大学である。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおり。

- 1) 日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かし、日研生ができる限り日本文化を実地で検証できる研修内容である。
- 2) 大阪・京都まで1時間以内で行けるという利便性を生かし、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義と実地研修の両面で指導する。

- 3) 日本語、および日本文化関連の授業、実地検証などにおいて、日研生独自の年間カリキュラムを提供する。
- 4) 教育大学であることの特色を生かし、附属校等の授業に参加したり、子ども達と交流することで、日本の教育の実状も体験できる。
- 5) 留学期間後半では修了レポートの作成に伴い、日研生各自の興味の対象に沿う指導を行う。

#### ③ 受入定員

21名（大使館推薦15名、大学推薦6名）

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する意欲のある者

日本語能力試験N2以上の日本語能力が望ましい。また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は日本語学、日本文学、日本語教育、日本文学、比較文化学であることが望ましい。

#### ⑤ 達成目標

- 1) 日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる
- 2) 大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。

#### ⑥ 研修期間（在籍期間）

2020年9月下旬 ～ 2021年8月下旬

（修了認定は9月中旬～下旬となるため、

修了式は実施していない。）

#### ⑦ 奨学金支給期間

2020年10月 ～ 2021年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

(2019年度実施(予定含む))

- 9月中旬～下旬：渡日、オリエンテーション
- 10月： 秋季留学生懇談会(歓迎会)
- 11月： 学習旅行(滋賀県近江八幡市)、大学祭
- 1月： 歌舞伎観劇
- 3月： 大相撲見学
- 4月： 春季留学生懇談会(歓迎会)、学習旅行(三重県志志島)
- 7月： 文楽観劇
- 8月： 修了発表会
- 8月下旬： 帰国

⑨ コースの修了要件

- 以下の要件を満たした場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。
- ・ 秋学期、春学期で指定された科目を含む合計360時間以上を履修し合格すること
- ・ コースで定められた実地研修に参加すること
- ・ 本コースの成果をまとめたレポートを日本語で作成すること
- ・ 成績証明書の発行  
各学期の終了後に発行する。
- ・ 単位の認定及び単位互換  
コースにおいて履修し合格した授業については単位を認定し、大学推薦の学生にあっては、取得単位は協定に基づき互換される。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コースの特徴

日本語教育に関して、既存の留学生用授業を組み合わせることによって、日研生の日本語力に応じたレベルの日本語授業が受けられるようにする。  
日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識を座学で学ぶと同時に、プロジェクトワークや学校交流等を取り入れた実践的な日本語使用および文化理解の機会を提供する。

2) 研修・コース開設科目

I) 必修科目(★), II) 選択科目: 以下のとおり

	授業科目	時間数							
		秋学期	春学期	計					
日本語	(★)日本語Ⅰ上級(論文執筆技術)	30	30	60	日本文化	★※日本文化史	30		30
	(★)日本語Ⅱ上級(アカデミック読解)	30	30	60		★※比較文化論		30	30
	(★)日本語コミュニケーション(体験型日本語学習)	30		30		★※現代日本論		30	30
	(★)日本語演習Ⅱ(中上級アカデミック読解)	30		30		日本人の宗教観	30		30
	(★)日本語演習Ⅱ(中上級小論文執筆技術)	30		30		※比較言語文化論	30		30
	(★)日本語演習Ⅰ(中上級文学読解)		30	30		日本語文献講読(文化)		30	30
	(★)日本語演習Ⅰ(中上級小論文執筆)		30	30		文化関連科目1		30	30
	(★)日本語文献講読(言語)		30	30		文化関連科目2		30	30
	・(★)日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修 ・上記日本語科目は一般留学生も受講可						その他	※日本語教育論	30
					※日本語教授法特講			30	30
					★修了レポート指導	—		—	—
					日本文化科目、その他の科目のうち、 ★は必修科目、※は日本人学生の受講も可				

上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、その他の日本人向け授業を受けることができます。ただし指導教員および担当教員の許可が必要です。

日本人向け授業例

- 日本文学概説Ⅰ
- 日本文学概説Ⅱ
- アジアの中の日本美術史
- 日本史概説Ⅰ
- 日本史概説Ⅱ
- 日本語学概説Ⅰ
- 日本語学概説Ⅱ など

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色（続き）

### 3) 見学、地域交流等の参加型科目

11月、1月 地域の小中学校での交流や授業体験  
(日本人学生も参加)

11月 学習旅行(滋賀県近江八幡市)

4月 学習旅行(三重県答志島)

日本文化の体験

1月 歌舞伎鑑賞 3月 大相撲観戦、他

・大学主催の国際交流イベント(月1回程度)のほか、  
地域団体主催の文化体験プログラムにも参加可能。

### 4) 日本人学生との共修の機会

以下の留学生向け科目(2)表中※を付した科目)は  
日本人学生も受講可である。

- 日本文化史 -比較文化論 -現代日本論
- 比較言語文化論 -日本語教育論
- 日本語教授法特講

また以下の科目でも日本人学生との共修機会を提供している。

- 日本人向け科目(授業担当教員の許可の下受講可)
- 日本語科目におけるクラス活動(地域の交流の準備時間等)



## ⑪ 指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。

( )内は専門分野

\* 頓宮 勝(インド学、比較文化) [tonguu@nara-edu.ac.jp](mailto:tonguu@nara-edu.ac.jp)  
※2021年4月以降は変更あり

\* 和泉元 千春(日本語教育学) [izumimotoc@nara-edu.ac.jp](mailto:izumimotoc@nara-edu.ac.jp)

## ■宿 舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。

寮費 約17,200円/月 (但し、居室光熱費別途)  
Wi-fi設備あり。

## ◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2,500円)、  
外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(略称:インバウンド付帯学総)(月額約3,000円)に加入する必要があります。  
また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。



附属幼稚園児を対象とした絵本の読み聞かせ



附属小学校での  
交流授業

## ■修了生へのフォローアップ

### ①指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再日を希望する場合には、比較文化及び日本語教育を専門とする留学生担当教員が主として e-mail により助言し、専門領域に応じて、本学で受け入れたり、他大学を紹介している。

### ②キャリアパス(一例)

日本やその他の国の日本語教育機関において教職、研究職に従事。日本語能力、日本理解を必要とする日本国内外の企業への就職。



学習旅行(答志島)

## ■問合せ先

<担当部署>

奈良教育大学学生支援課国際交流・留学生担当

住所: 〒630-8528

奈良県奈良市高畑町

TEL: +81-742-27-9148 (直通)

FAX: +81-742-27-9146

Email: [ryugaku@nara-edu.ac.jp](mailto:ryugaku@nara-edu.ac.jp)

<ウェブサイト>

奈良教育大学国際交流留学センター:

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

奈良教育大学:

<http://www.nara-edu.ac.jp>



# NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



## Program for On-the-spot Experience of Japanese Language and Culture --- YAMATO ---

### ■ Introduction of our University

#### ① Outline and Characteristics of the university

##### 1) History and Characteristics

The history of our university started with the foundation of Ordinary Normal School in 1888 and celebrated the 130th anniversary in November 2018. The school itself has been developing into Nara University of Education with the historical background of being in association with Women's Normal School and Youth Normal School to assume a new aspect as teacher training school in reality and in name, or changing its name into University of Liberal Arts in May 1949 and the present title in 1966.

The university aims at developing cultivated human resources of high intelligence, especially competent educationists, as well as contributing to the advancement of the characteristic culture in Nara.

The Graduate School (Master's Course) and School of Professional Development in Education are affiliated as the place for higher level of research in education and the practical place for reviewing and reorganizing educational theory after having experience of teaching in schools.

##### 2) Number of Teaching Staffs and Students:

Number of Teaching Staffs : 92  
Number of Students: 1,286

#### ② International Exchange

Though our university is small in size, educational circumstances and facilities satisfy foreign students' request. Especially characteristics as teacher's training college, that is, the variety of professors' research fields in addition to the education based on the university's location as the ancient capital of Japan has ever been highly evaluated. Our university has ties with 12 partner universities in 7 countries through international exchange agreements and 56 foreign students from 11 countries are studying at the university now and its number accounts for 4 percent of the total number of our students.

In particular, we are experienced in accepting Japanese Studies Students (hereafter referred to as "Nikkensei"), and we have ever offered the special program, reviewed and improved every year, to around 190 students from about 40 countries in total since one student started to study under the program in 1987. The university is an excellent location for the practical study of Japanese traditional culture as well as modern culture.

#### ③ The number of international students and Nikkensei for the past three years

2019 : International students 56 Nikkensei 9  
2018 : International students 61 Nikkensei 7  
2017 : International students 56 Nikkensei 3

#### ④ Characteristics of Nara Prefecture

Nara city with a population of 360,000 is conveniently located within 1 hour distance by train from both Osaka and Kyoto. Moreover, the city was the capital of Japan for about 80 years in 8th century, and the tradition as the old city still remains strong. The place, as it were, is one of rare cities where the past atmosphere intersects with modern environment.

Nara, which celebrated the 1300 anniversary of the transfer of national capital in 2010, focuses on the international exchanges, and expects to welcome and support students from abroad.

### ■ Outline of the Course

#### ① Purpose of Study We accept both (a) and (b) below.

- (a) A course intended mainly to study about Japan and Japanese culture
- (b) A course intended mainly to improve Japanese language proficiency

#### ② The features of the Course

Our university is not only located in the area accessible to those famous temples and shrines on foot but also has excavated ruins of a temple constructed in the 8th century on campus.

- 1) Nikkensei students can study Japanese language and culture in such a place regarded as the original place of Japanese culture by attending classes offered in this program.
- 2) Students are guided and instructed on and off campus to understand the coexistence of traditional and modern culture in addition to Japanese concept of values behind its history and culture within easy access of Osaka and Kyoto.
- 3) We offer the unique annual curriculum for Nikkensei.
- 4) Students may get to know actualities of education in Japan with the experience of participating the classes as invited speakers and interacting with pupils in our attached schools etc, which is a characteristic of our university as a college of education.
- 5) When students draw up final composition to complete this program during the latter part of the course, they are guided under the appropriate instruction for their respective interests.

#### ③ Number of students to be accepted

Total is 21 students  
( 6 students who recommended by University  
15 students who recommended by Embassy)

#### ④ Requirements for Completion of the Course and its Certificates

The applicants for this Course are required to be a person who are motivated to learn Japanese culture and customs sincerely. And they are expected to have the ability in Japanese language equivalent to or above the level N2 of the Japanese Language Proficiency Test, and also have at least two years' experience in studying Japanese. The desirable major fields of study are Japanese Linguistics, Japanese Literature, Japanese Education, Japanology (Study on Japan in general) and Comparative Culture.



**⑤The program goals**

- 1) To be able to write a report on Japanese language and culture based on the result achieved during the program.
- 2) To acquire the Japanese language proficiency and communicative competence necessary for academic research activities and social life.

**⑥Period of the Course**

From late in September 2020 to late in August 2021 (Graduation ceremony will not be held because approval of completion will be in September, 2021.)

**⑦Period of the Scholarship**      October 2020~August 2021

**⑨Requirements for Completion of the Course and its Certificates**

Those students who meet the following requirements are given the certificate of this course with approval of Promotion Office of International Relations.

- To complete the prescribed 360 credit hours a year.
- To participate in compulsory study excursions.
- To submit a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program.
- Transcript                  Transcript is issued after each semester.

-Acquirement of credit and its transfer system

Students can acquire credits of those classes which they attended and passed , and credits acquired by students of our partner universities are transferable.

**⑧Program Events (in 2019(including plans))**

Middle or late in September:

Arrival in Japan and orientation session

October : International Student Party (Welcome party)

April : International Student Party (Welcome party)

Late in August :Coming back to your home country

**⑩Course Descriptions**

**1) Characteristics of the curriculum**

- Students can enrich their understanding of Japanese language and culture in respective classes. Also the opportunity of practical Japanese usages introduced in the project work, and cultural understanding is offered.
- As for Japanese language, students can attend those classes corresponding to their proficiency from among various Japanese-related classes offered to other types of foreign students studying at our university.

**2) I ) Compulsory Subjects(★) and II ) Elective Subjects are as below.**

	Subjects	Hours			Japanese Culture				
		Fall	Spring	Total					
Japanese Language	(★)Japanese I (Academic writing)	30	30	60	★※History of Japanese Culture	30		30	
	(★)Japanese II (Academic reading & writing)	30	30	60		★※Comparative Culture		30	30
	(★)Practical Japanese Communication (Action-oriented Japanese language learning)	30		30		★※A view of Modern Japanese		30	30
	(★)Seminar of Japanese Language II (Academic reading, Pre-advanced level)	30		30		Japanese view on Religion	30		30
	(★)Seminar of Japanese Language II (Academic writing, Pre advanced level)	30		30		※Comparison of Cultural Linguistics	30		30
	(★)Seminar of Japanese Language I (Reading of literature, Pre-advanced level)		30	30		Academic Reading in Japanese (Culture)		30	30
	(★)Seminar of Japanese Language I (Academic writing, Pre advanced level)		30	30		Subject about culture 1		30	30
	(★)Academic Reading in Japanese (Language)		30	30		Subject about culture 2		30	30
	(★)Compulsory Japanese subjects corresponding to one's Japanese proficiency are specified by the educator.					Others	※Introduction to Teaching Japanese as a Second Language	30	
•All Japanese classes are open to other types of international students.				※Methods of Teaching Japanese as a Second Language			30	30	
					★Report Writing	—	—	—	
					★Compulsory class, ※Class open to Japanese students				

The students can attend the classes for Japanese students only when they do not have classes for Nikkensei, under the permission of a supervisor and an instructor.

- Outline of Japanese Literature I      - History of Japanese Art in Asian Context      - General History of Japan II
- Outline of Japanese Literature II      - General History of Japan I      - Outline of Japanese Linguistics I (Spoken Expressions Included)
- Outline of Japanese Linguistics II ,      etc.

## ⑩ Course Descriptions

### 3) Practical Training, Participatory subjects

November : Field Study Trip to Ohmihachiman City,  
University Festival

November & January : School visit ( with Japanese students)

January : Kabuki watching

March : Appreciation of Grand Sumo Tournament in Osaka

April : Field Study trip to Toshi Island, etc.

\*You can also join many events planned by the university  
or the community organizations.

### 4) Collaborative learning with Japanese students

The following classes for international students are  
open to Japanese students.

-History of Japanese Culture

-Comparative Culture

-A view of Modern Japanese

-Comparison of Cultural Linguistics

-Introduction to Teaching Japanese as a Second Language

-Methods of Teaching Japanese as a Second Language

Also the students have the opportunity to learn with  
Japanese students in the following classes

-The classes for Japanese students (under the permission  
of a supervisor and an instructor.)

-Some class activities in Japanese class (e.g. preparation  
for school visit)

### ⑪ Leadership in Instruction

\* TONGUU Masaru

(Indology, Comparative Culture) [tonguu@nara-edu.ac.jp](mailto:tonguu@nara-edu.ac.jp)

※Will be changed to another instructor after April, 2021.

\* IZUMIMOTO Chiharu (Teaching Japanese as a Foreign  
Language) [izumimotoc@nara-edu.ac.jp](mailto:izumimotoc@nara-edu.ac.jp)



### ◇ Dormitory

Nikkensei can settle in our student residences unless  
they have special reason.

The room rent per one month is approximately 17,200  
yen. (The electricity expense in your private room is not  
included in a room rent.)

There is Wi-Fi inside the Dormitory.

### ◇ Others

Nikkensei have to buy National Health Insurance  
(about 2,500yen/m) and Comprehensive Insurance for  
Students Lives Coupled with PAS For International  
Students (about 3,000yen/y) in Japan.

Also Nikkensei have to take a chest X-ray in Japan, too.



Cultural Events for kindergarteners of the university  
attached kindergarten



Cultural Exchange program at attached schools

### ◇ Follow-up for graduates

#### ① Support

Two instructors in charge of foreign students'  
education advise students about their return to  
Japan as research students mainly through e-mail  
communication. Some students came back to us,  
or some students were introduced to other  
suitable institutions in accordance with their  
majors.

#### ② Track

Professional occupations at educational  
departments of domestic and international  
institutions. Employment opportunities at  
miscellaneous corporations or companies in  
Japan or students' countries which require  
Japanese language proficiency.



Field Study Trip(in Toshi Island)

### ◇ Contact Information

Contact: Nara University of Education,  
Student Affairs Section

Address: Takabatake-cho, Nara 630-8528

TEL +81-742-27-9148 (direct line)

FAX +81-742-27-9146

E-mail [ryugaku@nara-edu.ac.jp](mailto:ryugaku@nara-edu.ac.jp)

WEB(Nara University of Education, Center for  
Intercultural Exchange and Studies):

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

WEB(Nara University of Education):

<http://www.nara-edu.ac.jp>